

今日のテーマ

賢い掛捨て保険の入り方



今回のテーマは法人で加入することの多い掛け捨て保険＝定期保険について、その合理的入り方について検討してみましょう。

1. 保障の必要な期間を見定めましょう

たとえば、借入金対策ならば、借入期間と借入金額に合わせた保険加入をすることで無駄な出費を避けられます。

弔慰金・死亡退職金目的なら在任期間中を基本として保険期間と設定しましょう。

生命保険は、次の「2・保険期間の設定と保険料」で説明するように

- * 長期保障なら、当面の保険料は高いが、更新による保険料UPはなく累計保険料は安くなり、
- * 短期保障なら、当面の保険料は安い、更新による保険料UPにより累計保険料では高くなるからです。

2. 保険期間の設定と保険料

現在40歳の役員が運転資金の借入と弔慰金・退職金のために保険加入を検討しています。

借入金は、だいたい常時同じ金額になっているので、在任期間中の保障を考えています。

こういった場合、当面の保障を重視するなら短期の更新型を、70歳ぐらいまでの在任期間中をカバーするのなら長期の保険期間を設定することで保険料総額を安くすることができます。

* 【設定条件】 40歳 男性 保険金額：5,000万円 月払（無配当定期保険を扱う会社の一例）

	40~	45~	50~	55~	60~	65~	70	
5年定期	12,350	17,200	25,150	39,800	59,300	90,600		月払保険料
	741,000	1,773,000	3,282,000	5,670,000	9,228,000	14,664,000		累計保険料
10年定期	14,700	32,050		73,650				月払保険料
	882,000	1,764,000	3,687,000	5,610,000	10,029,000	14,448,000		累計保険料
70歳定期	35,200							月払保険料
	2,112,000	4,224,000	6,336,000	8,448,000	10,560,000	12,672,000		累計保険料

3. その他に…

長期の定期保険の場合、期間途中で解約返戻金があります。この解約返戻金を「0」とすることで保険料を安くした保険（無解約返戻金型定期保険）の月払保険料は「27,400円」となります。

また、健康体割引や非喫煙体割引などの制度の適用で3割程度安くなることもあります。

保険料には各種の割引制度があります。利用できるものはないかどうか、ぜひ確認してみてください。

今回は掛け捨て保険の性質を取り上げてみました。実際にご自身の保険について参考にしてみてください。具体的なご相談、シミュレーションに応じますので、お気軽にお声をかけてみてください。